

つたえる地域 つながる地域

全日本ジュニアレスリング 光星高勢活躍



全日本ジュニアレスリング選手権で上位入賞を果たした
荒道豊樹さん(左)と、浜田大地さん。右は金沢清文監督

浜田さん 92キロ級準V 荒道さん 48キロ級3位

「次は優勝」闘志燃やす

選手権は今月14、15日に行われ、2人は昨年12月の東北地区予選で優勝して出場権を獲得した。19日、中村良寛教頭と監督の金沢清文教諭と共にデーリー東北新聞社を訪問し、結果を報告した。高校からレスリングを始めたという浜田さんは「決勝で技を確実に決められなかったことが原因。今後に反省を生かしたい」と選手権を振り返った。

レベルの高い試合の連続だったという荒道さん。準決勝の終了間際に掛けた技が時間切れで入らず、3位に終わり、「優勝して世界大会に行きたかった」と悔しがった。

今月28、29日に青森市で開かれる県高校春季大会で浜田さんは同じ階級、荒道さんは51キロ級でそれぞれ出場予定。2人とも「いい結果を残し、8月のインターハイにつながる」と力強く抱負を述べた。

八戸 今月、横浜で行われたJOCジュニアオリンピックカップ大会2018年度全日本ジュニアレスリング選手権で、八戸学院光星高レスリング部の3年浜田大地さん(17)とむつ市立関根中出川が男子カデットの

部92キロ級で準優勝、2年荒道豊樹さん(16)は八戸市立下長中出川が48キロ級で3位にそれぞれ輝いた。2人は今後の県高校春季大会やインターハイを見据え、「次は優勝したい」と闘志を燃やしている。(里村静)